

*2014年 11月改訂 (第2版)
1999年 12月改訂

日本標準商品分類番号
872619

外用殺菌消毒剤
日本薬局方
アクリノール
Acrinol
アクリノール「東海」

承認番号	(59AM)1007
薬価収載	1955年9月
販売開始	1958年5月
再評価結果	1983年4月

貯 法：遮光した気密容器
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること）

*【組成・性状】

1. 組成

本品は1g中 日本薬局方アクリノール水和物1g
を含有する。

2. 性状

本品は黄色の結晶性の粉末である。
本品は水、メタノール又はエタノール(99.5)にやや
溶けにくい。
本品1gを水100mLに溶かした液のpHは5.5~7.0
である。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
化膿局所の消毒 泌尿器・産婦人科術中術後、化 膿性疾患（癰、よう、扁桃炎、 副鼻腔炎、中耳炎）	0.05~0.2%の 液として使用 する。
口腔領域における化膿局所の消毒	0.05~0.1%の 液で含嗽する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確と
なる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
皮膚 ^{注1)}	塗布部の疼痛、発赤、腫脹等があらわ れ、更に潰瘍、壊死を生じる
過敏症 ^{注2)}	過敏症状

注1)このような症状があらわれた場合には使用を中
止し、適切な処置を行うこと。

注2)このような症状があらわれた場合には使用を中
止すること。

2. 適用上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

【薬効薬理】

各種化膿菌、特に連鎖球菌、ウェルシュ菌、ブドウ球
菌、淋菌などに対し、静菌並びに殺菌作用がある。作
用機序は、生体でアクリジニウムイオンとなり細胞の
呼吸酵素を阻害するといわれている。生体組織にほと
んど刺激を与えず、血清たん白質の存在下でも殺菌力
は低下しない。

*【有効成分に関する理化学的知見】

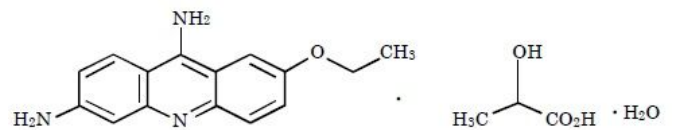
一般名：アクリノール水和物

化学式：2-Ethoxy-6,9-diaminoacridine monolactate
monohydrate

分子式：C₁₅H₁₅N₃O·C₃H₆O₃·H₂O

分子量：361.39

構造式：



【取扱い上の注意】

衣服に付着すると黄色に変色し、脱色しにくいので注
意すること。

【包装】25g

*【主要文献】

日本薬局方解説書（廣川書店）

【文献請求先】

〒454-0954

名古屋市中川区江松一丁目105

東海製薬株式会社 情報室

TEL 052-302-8501

* 製造販売元 **東海製薬株式会社**

名古屋市中川区江松一丁目105